

治験・受託研究審査委員会議事録

(1) 委員会開催日・場所

平成 28 年 9 月 8 日（木曜日） 16:02～17:29

東京都立墨東病院 病棟 14 階 講堂 A

(2) 治験審査委員会 出席委員名

出席	職名	氏名	備考
○	検査科部長	谷澤 徹	委員長、 治験事務局員
○	新生児科部長	清水 光政	副委員長
○	副院長	岩間 徹	治験事務局長
○	診療放射線科部長	松岡 勇二郎	
○	脳神経外科医長	中村 安伸	治験事務局員
○	薬剤科長	廣井 順子	治験事務局室長
×	看護部看護科長	郷 由里子	治験事務局員
×	事務局長	井村 琢	非専門委員
○	企画・運営専門課長	佐藤 富子	非専門委員
○	医事専門課長	清水 孔嗣	非専門委員
×	墨田区福祉保健部厚生課長	三浦 博司	院外委員
○	弁護士	五十畑 亜紀子	院外委員

(3) 同席者

治験審査委員会事務局

土師 知子（治験事務局員）、橋本 法子（治験事務局員）、新井 剛（治験事務局員）

議 事 要 旨

*開催日時、開催場所、出席委員名については別紙のとおり。

【治験審査委員会】

第一三共株式会社の依頼による関節リウマチ患者を対象とした AMG162 (デノスマブ) の第Ⅲ相試験

治験依頼者：第一三共株式会社

開発の相：第Ⅲ相

治験薬： AMG 162

① 新たな安全性情報：

安全性情報等に関する報告書（2016年 8月 22日付）

治験依頼者より安全性情報等に関する報告書が提出された。

同報告書の内容について、治験依頼者、治験責任医師共に治験の継続に問題なく、実施計画書、説明同意文書の変更の必要はないと判断した。

治験を継続することに関して審議され、特に異議なく承認された。

塩野義製薬株式会社の依頼による注意欠如・多動症患者を対象とした S-877489 の長期投与試験

治験依頼者：塩野義製薬株式会社

開発の相：第Ⅲ相

治験薬： S-877489

① 新たな安全性情報：

安全性情報等に関する報告書(2016年 7月 21日付) (2016年 8月 8日付)

治験依頼者より安全性情報等に関する報告書が提出された。

同報告書の内容について、治験依頼者、治験責任医師共に治験の継続に問題なく、実施計画書、説明同意文書の変更の必要はないと判断した。

治験を継続することに関して審議され、特に異議なく承認された。

塞栓源を特定できない塞栓性脳卒中（ESUS）発症後間もない患者を対象とする再発性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制におけるリバーロキサバン（15mg1日1回投与）のアスピリン（100mg）に対する有用性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、ダブルダミー、実薬対照、イベント主導型、第Ⅲ相優越性試験（NAVIGATE ESUS）

治験依頼者：バイエル薬品株式会社

開発の相：第Ⅲ相

治験薬：BAY59-7939（リバーロキサバン）

① 新たな安全性情報：

安全性情報等に関する報告書 2016年8月9日付以下4報告

(2016年6月27日報告) (2016年7月12日報告)

(2016年7月26日報告) (2016年8月8日報告)

治験依頼者より安全性情報等に関する報告書が提出された。

同報告書の内容について、治験依頼者、治験責任医師共に治験の継続に問題なく、実施計画書、説明同意文書の変更の必要はないと判断した。

治験を継続することに関して審議され、特に異議なく承認された。

メトトレキサートに対して効果不十分な活動性関節リウマチ患者を対象としたアバタセプトのメトトレキサート併用療法とメトトレキサート単独療法の有効性及び安全性を検討する多施設共同ランダム化二重盲検試験（第Ⅳ相臨床試験）

治験依頼者：ブリストル・マイヤーズ株式会社

開発の相：第Ⅳ相

治験薬：BMS-188667

① 試験薬不具合時の報告様式：

治験依頼者及び治験責任医師より上記に関して治験に関する変更申請書が提出された。

審議され、特に異議なく承認された。

② 治験協力者変更：

治験依頼者及び治験責任医師より上記に関して治験に関する変更申請書(2016年8月22日付)が提出された。審議され、特に異議なく承認された。

③ 治験協力者変更：

治験依頼者及び治験責任医師より上記に関して治験に関する変更申請書(2016年9月8日付)が提出された。審議され、特に異議なく承認された。

RFB002 の未熟児網膜症患者を対象とした臨床第Ⅲ相試験

治験依頼者：ノバルティスファーマ株式会社

開発の相：第Ⅲ相

治験薬：RFB002

① 新たな安全性情報：

安全性情報等に関する報告書(2016年8月10日付)

治験依頼者より安全性情報等に関する報告書が提出された。

同報告書の内容について、治験依頼者、治験責任医師共に治験の継続に問題なく、実施計画書、説明同意文書の変更の必要はないと判断した。

治験を継続することに関して審議され、特に異議なく承認された。

ON0-2370 第Ⅱ相試験 レボドパ及びドパ脱炭酸酵素阻害剤の併用下で症状の日内変動 (wearing-off 現象) が認められるパーキンソン病患者に対する多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検並行群間比較試験、及び非盲検非対照長期継続投与試験

治験依頼者：小野薬品工業株式会社

開発の相：第Ⅱ相

治験薬：ON0-2370

① 新規

治験依頼者より治験依頼書が提出された。

審議され、特に異議なく承認された。